

令和6年度 淡水会 会員総会・懇親会のお知らせ

1. 日時 令和6年6月23日(日)

総会 12時～12時30分 懇親会 12時30分～14時30分

2. 場所 神戸ポートピアホテル

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6丁目10-1

TEL 078-302-1111

20分毎に三宮バスターミナルからシャトルバスの運行有

(混雑しますので、予定より早めにご乗車下さい)

3. 会費 10,000円

原則、座席は学部の近い人どうしにしています。また、ゼミ生・クラブ・知人等、ご要望にお応えし同テーブルにさせていただきます。

尚、令和6年3月卒業生の会費は無料です。

皆様お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

令和5年度 会員総会・懇親会出席者

國井総一郎(理事長) 高坂誠(学長) 小川佳宏(副理事長) 草薙真一(副学長) 友野哲彦(国際商経学部長・博H8) 藤江哲也(社会情報科学部長) 新澤秀則(社会科学研究科長) 城谷美也子(神戸商科キャンパス経営部長) G4多田和昭 G4平松政男 G5石田靖夫 G5小山陽 G6瀧川博司 G7野田五郎 G8林鈞一 G9岩木英一 G9福田泰弘 G12濱田長伸 G13松本武城 G14金岡良郎 G14船倉敏朗 G16寺内設昭 G17佐藤公紀 G18齊藤悦一 G18永井豊 G19長谷川俊夫 G21飯田久夫 G21大路孝志 G21大平典正 G21志儀英昭 G21藤澤信幸 G22児玉和夫 G22高尾光俊 G22藤本好行 G24金田友三郎 G24後藤和博 G24高野佳良 G24平尾徳一 G25森田昌子 G26小宅一夫 G26根来弘明 G26古庄健 G27岡村武和 G27柴崎義幸 G28羽室毅 G28堀川幹雄 G30岡本俊二 G30木村真也 G30永恵義晴 G30初村一郎 G31西本正美 G31寺川幸夫 G31前田雅章 G32坪田一夫 G32中村有延 G33北郷和也 G34大畑浩一 G34岸本康弘 G36小野博幸 G36山口俊比古 G38大原秀夫 G38木村幸二 G38伊東信行 G39梶本浩之 G39松下孝志 G41シェリー・松下・フォン G43青松英俊 G43齋藤義典 G43横屋由紀子 G45井原和夫 G45島山清史 G45三宅直 G47柏木則人 G47佐崎肇 G47中村智宏 G48佐藤克徳 G48吉澤敏 G49加藤健二 G50中内真人 G52小川奈都子 G52大隅晨(旧姓:申) G53五島大亮 G53坪内佑介 G2012石川英里 G2015村上立真 G2017岡林泰世 G2017高田康平 博2022巽一樹 学生:村上耀紀 寺崎桃杏奈 野村名央

初めて参加して —令和5年度—

音田 武敏 G 16

自称「ネットオタク」の小生が23年度新年会への参加の動機になったのは当時折地球上波デジタル放送で放送されていた「五百旗頭理事長」の講演を拝聴できるといふ案内でした。

目まぐるしく変化する国際情勢を講演されるといふことで胸を弾ませて参加しました。期待どおり見事な解説を拝聴し感動しました。その後の退任講演でも重複するところも含めて痛く感じ入っています。同時に同期の面々と再会できるという幸運にも恵まれました。心置きない会話からゴルフプレーまで進行しました。田舎出の学生が「半都会」の垂水で学び遊べたのは本当に「ラッキー」だと思っています。我が大学の益々のご発展を期待しています。

小阪 博信 G 17

五百旗頭先生の講演がお目当て。6人掛けの円卓が20卓。我が卓は全員硬式野球部OB。講演は先生の溢れる熱意で20分超過。進行役の腕で予定通りに、お疲れ様でした。懇親会に移り、岡村会長の挨拶、太田学長の発声で乾杯から始まり、途中松本先輩の出し物を堪能し、永井副

会長の挨拶で閉会。「お値段（会費）以上」と大満足で帰京の途に。

平尾 徳一 G 24

卒業（昭和49年卒）してから間もなく50年になります。光陰矢の如しです。令和4年度事業報告等、令和5年度事業計画等の説明を拝聴いたしました。そして、懇親会で諸先輩といろいろなお話ができました。楽しい有意義な時間を共有することが出来ました。有難うございました。今後ともよろしくお願いいたします。

古庄 健 G 26

古希を迎えたのを機に同窓会活動にも積極的に参加しようと考え、令和5年6月の総会に参加させて頂きました。皆様と歓談を交す内に徐々に神戸商科大学時代の青春の日々が甦り50年振りに学歌の一節「ああ経世の意図をみよ」と合唱すると、商大で過した青春に乾杯でした。

青空の下の入学式に今は亡き母と出席し、高木正雄学長の祝辞に将来への夢を大きく膨らませた事を懐しく思い出しました。その青春の舞台であった学舎は、今は垂水の高丸丘には在りません。「高丸丘惜別譜」に収録された映像としての記録のみとなりました。悲しい限りです。しかし、淡水会の会場には高丸丘の青春を共有し、常に温故知新の精神に満ち溢

れた先輩諸氏で埋め尽くされていました。皆様、淡水会の総会、新年会等に出席しましょう。そして、垂水で、高丸の学舎で、展開された数々のドラマを語りましょう。

田中 成和 G 28

神戸商科大学卒業後初めて総会に参加しました。後藤ゼミ、稜線山岳会（山岳部OB会）、淡水東京会にはよく参加しましたが、様々な趣向を取り入れて有意義な総会でした。特に講師の五百旗頭真氏の演題「激動の世界と日本」は、長期に亘る歴史観・広い視点・深い考察力に培われた講演は色々と考えさせられました。

砂川 幹雄 G 30

卒業後43年を経て初めて新年会に参加させて頂きました。東京に居を構えて久しく、淡水会とは疎遠でしたが、想像以上に講演会・懇親会とも盛大で驚きました。また、同席の方との会話が楽しく、神戸商大の名前が無くなり寂しく思っていました。関係者の方のご尽力に感謝申し上げます。今後多くOBの方との出会いが楽しみです。

寺川 幸夫 G 31

クラブ活動が主体だった学生生活、卒業後一貫してサラリーマン生活に従事し、現役引退後、淡水会の催しに参加するようになりました。学生・会社員・現役引退後と身辺が三変しその時々で淡水会との関わり合いを考えていました。来月は久しぶりにクラブOB会に参加予定です。その中で後輩・現役・先輩の方々の近況を知り商大の文化にまた触れる事となります。

山口 俊比古 G 36

卒業後37年を経て、初めて総会・懇親会に参加させて頂きました。きっかけは、2020年4月コロナ禍、社長の任を拝命したことで、「淡水」でのインタビューを受けた際、眠っていた母校愛が一気に湧き出てきたことからによるものです。素晴らしい先輩方や同期生、後輩の皆さんに出会えて感謝です。これからは、育てていただいた母校に少しでも恩返しが出来ればと思っております。

大西 雅之 G 37

昨年、姫路支部長を拝命し、今年の新年会に初参加いたしました。他の支部長さん達も気さくに受け入れていただき、2次会までお誘いいただきました。各地

で熱心にお世話する方がいるのにびっくりし、身が引き締まりました。今後も淡水愛を大事にして姫路の支部会を活性化していきます。

中村 智宏 G 47

大学を卒業し、紆余曲折の末に鍼灸師となり、陸上部サポーターということになり、母校を訪れるようになりました。昨年秋に初めて淡水会事務局へご挨拶に伺い、その後「淡水」への広告掲載や総会・懇親会へのお誘いなど、非常にお世話になっております。

また、懇親会では、学生時代は話す機会のなかった方々とも会話ができ、貴重な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



1981年卒業アルバムより 本館



1981年卒業アルバムより 本館・一号館

新入会員です よろしく！

令和5年3月卒業・修了者

本江 帆嵩	内藤 恋菜	崎田 圭亮	垣内 優太	国際商経学部 [経済経営] (253名)
本田 彩乃	中井 駆	櫻井 里香	加来 祐樹	
前田 紗知	中江 優花	佐武 彩香	柏原 成	
前田 紫帆	長岡 さくら	佐野 天音	柏木 理沙	
前谷 優衣	中里 直寛	塩川 倅平	梶原 一美	
楨田 英里	長澤 辰哉	四宮 優花	梶原 琉花	
牧野 新	永田 杏雛	芝野 佑哉	門川 玲子	
正岡 巧	中田 夢生	芝山 亮輔	鎌田 洋希	
松井 彩実	中谷 雪乃	島村 奎吾	鎌田 優作	
松井 莉帆	中西 敏仁	清水 楓	亀本 倅我	
松原 鈴葉	中村 美月	清水 理沙	河上 颯真	
松本 滉平	西川 岳穂	下濱 萌音	川添 泰平	
松本 充希	西谷 侑花	下東 龍生	川田 修	
丸井 陽介	仁科 柚香	下村 雄真	川名 裕樹	
丸茂 大祐	西村 優輝	新屋 寧々	川端 はづき	
丸山 智也	野崎 さや香	末広 夏菜	川端 花	
三木 彩楓	野水 桃子	角 太輝	岸 映瑠	
水江 恒誠	萩原 萌香	関 秀明	北川 郁美	
三田 明季穂	箱木 遥香	大司 和樹	北口 芽依	
三谷 彩暖	橋本 龍之介	多方 亮輔	北福 咲弥	
光田 啓太郎	長谷川 航	高橋 杏介	北山 真沙紀	
湊 龍之介	濱田 絵	高橋 秀弥	木下 昂	
三野 遼太郎	濱田 涼輔	高濱 彩	久保 達也	
宮崎 恭祐	原 安那	高松 尚生	熊谷 暢桂	
宮崎 智貴	原田 應次郎	田中 湖太郎	熊代 百華	
宮寺 葵	東影 舞	田中 仁美	倉重 実奈	
宮原 大輔	久井 建人	田中 ひなた	栗生 紗英	
三好 萌々香	平尾 杏実	田邊 紗彩	黒田 望愛	
村尾 勇真	平田 真嵩	田部 友香	黒田 光莉	
村上 優華	廣岡 彩花	谷水 仁菜	桑野 琉矢	
村越 千咲	廣地 将利	谷本 貫太	梶谷 桃香	
村田 萌奈美	深見 渉也	田村 明日香	小酒 佑吏	
村竹 萌子	福井 日鞠	田村 真子	小里 朱璃	
室谷 みづき	福崎 瑠実	田村 真穂	小西 凌	
本山 裕介	福澤 志哉	近久 詩織莉	小林 彩佳	
森川 亜津美	福原 創大	塚本 晃平	小林 源	
森川 華帆	藤岡 大紀	津田 幸輝	小林 誠	
森田 紫衣里	藤田 愛美	津田 真希	駒谷 友昭	
森山 菜那	藤田 葉月	土屋 由佳	駒谷 玲奈	
諸戸 美夢	藤原 啓亮	手塚 菜穂子	小矢田 来実	
安田 空	藤本 果穂	寺部 佐知香	是清 優里	
山口 竜輝	藤原 克成	東新 知香	伊永 南斗	
山口 悠輔	船越 荘平	梅 菜乃子	近藤 大真	
山口 璃子	古渕 友菜	徳永 大知	佐伯 龍	
山田 拓実	星山 愛里	徳永 ゆい	酒井 杏佳	
山名 然	堀切 淳平	戸田 修生	坂上 蓮	
山根 光瑛	本郷 詩乃	友田 朱音	坂野 将輝	

井口 勝太
石飛 敦也
岩間 誠司
梅田 和裕
梅本 莉駆
岡本 義希
小川 博英
小川 幸宏
奥田 望
甲斐 雄大
加古 泰三
梶本 貴雅
梶原 康平
菊井 隆寛
古畑 眞由
紺谷 宜央
佐々木 まゆ
徐 子傲
数藤 大知
清尾 竜太
高山 宗久
瀧口 勇
田中 浩介
張 琪雯
張 孟龍
陳 瑞
筒井 真紀
中嶋 直人
鍋岡 崇
野田 拓昭
畑 恭静
平田 一郎
福田 隆成
藤田 美蘭
船本 大貴
牧野 弘之
松下 優
松本 桃香
ミーム ファテマ イスラム
美甘 悠樹
宮武 徹也
村下 蛭
森本 翔太
山田 太一
吉川 弦吾
ラニ レゼキ エカ プトリ

博士 (3名)

王地 裕介
仲井 翔
森 尊文

和田 航大
渡邊 泰成

経済学部 (26名)

相見 凌雅
赤藤 翔子
阿部 純弥
市橋 拓朗
井上 美里
大島 歩都
梶原 七斗
金本 啓吾
構 航太
桑垣 虹太
小松 尚太郎
芝床 瑞輝
園部 修一朗
高橋 匠悟
玉城 輝光
徳弘 実良悦
名田 将孝
西田 智敬
西田 浩紀
濱田 将司
堀田 侑里
松永 大輝
明井 芳奈
向井 裕貴人
安尾 泰都
李芬

経営学部 (15名)

朝原 大智
岩田 義史
大庭 湧真
狩野 寛太
鎌田 鏡生
小林 翔馬
瀬島 大世
武知 あいり
田島 勝平
都藤 彩花
中尾 真悠
中岡 拓也
橋本 泰樹
松村 ひかり
山下 晴貴

大学院 (48名)

青木 芳史
揚田 侑哉

竹内 和斗
田中 裕貴
谷口 紘太郎
田村 卓也
継山 嵩翔
辻田 隆善
壺坂 嶺
寺垣内 啓吾
寺島 知穂
徳納 悠一郎
豊島 真樹
中城 龍也
中野 光喜
長野 智大
中原 永登
西井 彩乃
西田 泰成
野村 祐貴
萩原 綸太郎
萩原 諒
狭間 亮太郎
花井 拓未
花谷 翔
濱島 優太
林 瞳
久司 隆博
平尾 星音
平岡 あおい
平田 有里佳
福井 愛生
藤井 透弥
藤井 萌恵
藤田 怜奈
藤村 勇海
藤原 宇一
藤原 祐也
松井 耕太
真那子 和志
眞鍋 陽向
円山 航平
水谷 優香
水谷 優香
村田 大輝
森田 佑菜
森谷 樹
森本 崇裕
山下 晃平
山本 杏珠紗
山本 雄大
横井 香樹
吉永 野々花

西尾 麻那
新田 優奈
橋本 侑那
濱田 優子
林田 ブルーノ アレックス クキ
福田 彩音
藤田 茶奈
藤原 未奈
別府 亜美
前田 萌花
松村 龍磨
毛房 千耀
吉岡 優樹
吉村 騰希

社会情報科学部 (88名)

青木 悠真
明石 泰聖
芦澤 亜里紗
飯田 都楓
池田 知也
石川 理紗
井上 舞香
今坂 優太
上田 皓一
岡田 侑也
小川 郁哉
飼原 玲
梶田 朝佳
檜本 廉太郎
片山 都々実
加藤 裕奈
川上 滉己
川西 哲平
木村 颯登
木村 友亮
草野 莉子
久保 里紗
榎木 璃子
桑田 若菜
小岸 沙也加
小山 大輝
坂本 秀隆
佐藤 瑞月
佐野 仁美
澤田 幸乃
芝山 高翔
新福 一貴
鈴木 史
隅田 麻弘
泰山 幸大

山根 悠太郎
山本 晃生
山本 愛未瑠
山本 歩実
山本 彩季
山本 紗夜香
山本 佑八
湯川 ひかる
楊 宗達
横山 大悟
吉崎 茜
吉田 祐子
萬 結律
刘 馨元
レ ティ タン タオ
若松 大央
和田 優志
渡邊 和哉
渡邊 夢菜
渡邊 琉凧

国際商経学部

[GBC] (42名)

相宗 俊兵
青山 渚沙
足立 樹花
安達 玲奈
稲岡 果苑
稲垣 俊助
井本 辰太郎
エイズリー 城 マイケル
大久保 百夏
大塚 高博
緒方 亮
尾川 優菜
小田 穂乃実
笠原 咲来
堅田 真風
河合 さやか
北尾 ひかる
駒田 百香
雑賀 薫
坂本 桃香
清水 雄太
高橋 準
高原 瑞葉
棚橋 丈睦
谷中 佑衣
辻 希美
中井 美奈
中村 見鈴